

コミュニティ スクールを問う



答 地域とともにある学校づくりを目指す

問 コミュニティスクールを導入する理由は。

教育長 地域住民及び保護者等が学校との信頼関係をより一層深め、連携を強化することと地域とともにある学校づくりを目指すためである。

問 制度が始まって20年過ぎるが、ここまで時間が掛かったのは何故か。

教育長 導入にあたり学校関係者及び地域の方々に丁寧な説明をするため時間を要した。

問 地域でどのような子どもを育てていくか、大事な部分で住民と学校がしっかり同じ方向を向かないと空中分解し



大宜見 洋文 議員

てしまう。そのために何を実現していくのか目標やビジョンを地域住民や保護者と共有し一体となって取り組む必要がある。地域住民と教師の認識は今後どういうプログラムで可能になるのか。

教育長 学校運営協議会を立ち上げている。その中で学校や子どもたち、地域の課題等について、みんなで一緒にやって熟議しその中からどのようなものに取り組んでいこうか自然と出て、みんなで取り組んでいくのが重要である。

問 小学校で自然栽培を生かした地域づくりに貢献できないか。校内の花壇や雑木林に

バナナやパイヤ、本町の特産物のスターフルーツ、シナモンの在来種のカラキを植栽し、擁壁や校舎の壁面、境界フェンスなどには、在来種のパイパーズやパッションフルーツ、バタフライピーなどをはわせる。これは実際、宮平区内で栽培されている。そう



沖縄県が進める問題解決型学習

いう住民と連携し持続可能な社会に向け校内で自然栽培農業を進める授業は、生徒が自ら課題を見つけ、解決する能力を養い社会的な能力を育むことを目的とする問題解決型学習（PBL）に沿うと考える。こういうアイデアは、どういう手続を踏んで提案すれば良いか。

教育長 学校応援隊はえざるのコーディネートの中で、学校の要望と一致した場合は、取り組んでいけると考える。

一こんな質問もしました
・次年度の待機児童数について
・町立図書館の新たな整備計画は
・ウガンヌ前公園や津嘉山公園にネーミングライツを導入できないか 他三問